

インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト モデル地区の追加選定について



- 1. モデル地区の追加選定候補**
- 2. モデル地区の追加選定(案)**
- 3. 追加選定モデル地区(案)の概要**

1. モデル地区の追加選定候補

1. モデル地区の追加選定候補

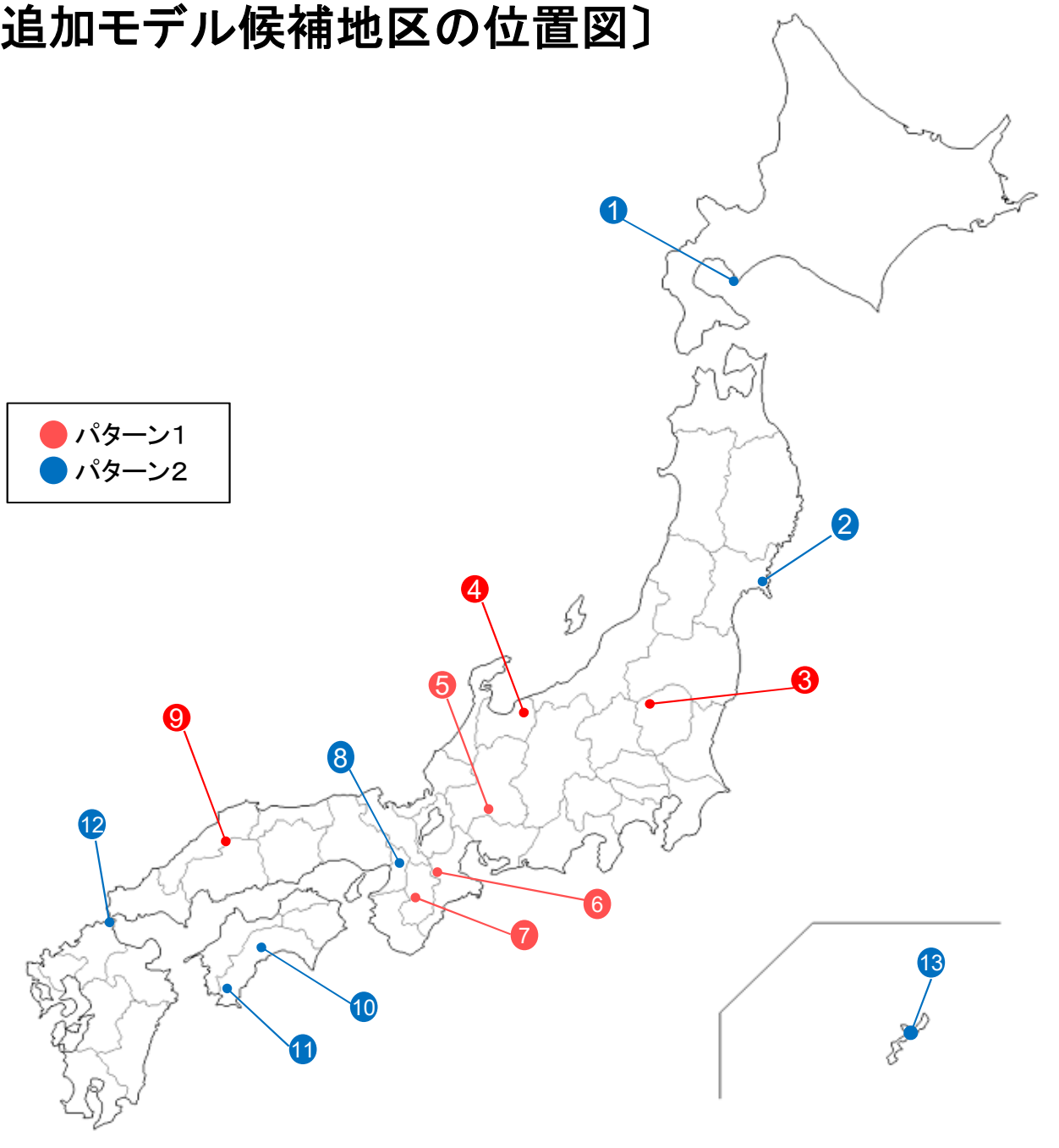
- 昨年度モデル地区として選定した5か所に加えて新たにモデル地区を追加する。
- 国管理施設及び会社管理施設を対象に、各施設管理者からモデル地区の追加選定候補として13施設の推薦。
- 「パターン1:更なるレベルアップを図る施設」と、「パターン2:これから推進していく施設」の2パターンに候補地区を整理。

〔モデル地区のパターン別要件〕

パターン	要件
パターン1 (更なるレベルアップを図る施設)	<ul style="list-style-type: none">・既にインフラツーリズムの活動が進んでおり、現時点で一定程度の来訪者(年間1,000人以上)があり、施設管理者と周辺地域が連携した協議会等が設置、運営されていること。・既にインバウンド(年間100人以上)があり、施設管理者及び周辺地域において、今後1年間でさらにインバウンドの拡大を目指す意識が明確であること。
パターン2 (これから推進していく施設)	<ul style="list-style-type: none">・施設管理者と周辺地域(自治体、協議会、地元NPO等)が連携した取り組みが準備されていること。・施設管理者及び周辺地域について、今後2年間で連携を本格化させ、一定程度の来訪者(年間1,000人以上)を目指す意識が明確であること。

1. モデル地区の追加選定候補 — 追加候補地区の概要① —

〔追加モデル候補地区の位置図〕



■ モデル地区候補のインフラ施設

	施設	パターン
1	国道37号白鳥大橋	2
2	石巻南浜津波復興祈念公園	2
3	鬼怒川上流ダム群(五十里・川俣・川治・湯西川)	1
4	宇奈月ダム	1
5	一級河川 木曾川	1
6	木津川上流ダム群と名張かわまちづくり	1
7	大滝ダム	1
8	亀の瀬の地すべり対策	2
9	尾原ダム	1
10	日下川新規放水路	2
11	横瀬川ダム	2
12	関門航路	2
13	金武ダム	2

1. モデル地区の追加選定候補 — 追加候補地区の概要② —

新規モデル候補地区の特徴とアクセス・背後地の状況は、以下のとおり。

	施設	パターン	所在地	特徴等	アクセス・背後地
1	国道37号白鳥大橋	2	北海道 室蘭市	東日本最大級の吊り橋、6か所のビューポイント。 主塔見学ツアー、ウォークイベントを実施。(2018年) 室蘭市:全国工場夜景都市協議会に参加。	空港:新千歳空港 (94km、約1時間10分) 主要都市:札幌市 (130km、約1時間40分)
2	石巻南浜津波復興祈念公園	2	宮城県 石巻市	震災復興のシンボルとして県営・市営公園を整備、追悼・記念 施設を国が整備。(2020年度完成予定) 植樹・震災展示スペース見学、被災地視察(語り部)を実施。	空港:仙台空港 (65km、約1時間) 新幹線:仙台駅 (56km、約1時間) 主要都市:仙台市 (53km、約1時間10分)
3	鬼怒川上流ダム群 (五十里・川俣・川治・湯西 川)	1	栃木県 日光市	五十里ダム・川治ダムの導水トンネル、湯西川ダム水陸両用バ スツアーなど、事業者・地域限定旅行社による着地型観光実施。 日光国立公園、世界遺産との連携の可能性。	空港:羽田空港 (196km、約2時間40分) 新幹線:宇都宮駅 (56km、約1時間10分) 主要都市:宇都宮市 (53km、約1時間10分)
4	宇奈月ダム	1	富山県 黒部市	黒部川水系唯一の多目的ダム。 黒部峡谷鉄道トロック列車から見え、展示施設もあり。 立山黒部アルペンルート・黒部ダム・上部軌道・立山砂防との 連携の可能性。	空港:富山きときと空港 (57km、約1時間) 新幹線:黒部宇奈月温泉駅 (14km、約20分) 主要都市:富山市 (59km、約1時間)
5	一級河川 木曾川	1	岐阜県 美濃加茂 市	リバーポートパーク美濃加茂を拠点とした本格的な各種アウト ドア体験。(グッドデザイン賞受賞) 国営木曾三川公園はじめ木曾川沿川の各種観光施設との連 携を検討。 丸山ダムでは国内最大級の嵩上げ工事を計画中。	空港:中部国際空港 (85km、約1時間30分) 新幹線:名古屋駅 (39km、約50分) 主要都市:名古屋市 (36km、約45分)

1. モデル地区の追加選定候補 – 追加候補地区の概要③ –

	施設	パターン	所在地	特徴等	アクセス・背後地
6	木津川上流ダム群と名張かわまちづくり	1	三重県 名張市	ダムカード配布の他、マラソンや駅伝、花火大会との連携を実施。 青蓮寺ダム、比奈地ダム、室生ダム、高山ダム、布目ダム、川上ダム(建設中)と河川空間での体験を検討。 名張市におけるエコツーリズムとの連携の可能性。	空港: 関西国際空港 (110km、約1時間35分) 新幹線: 京都駅 (94km、約1時間35分) 主要都市: 津市 (52km、約1時間10分)
7	大滝ダム	1	奈良県 吉野郡 川上村	展示施設「学べる防災ステーション」と堤内見学を実施。 大滝ダム・大迫ダム・水源地の森の着地型ツアー。 吉野熊野国立公園との連携の可能性。	空港: 関西国際空港 (93km、約1時間40分) 新幹線: 京都駅 (111km、約2時間) 主要都市: 奈良市 (53km、約1時間20分)
8	亀の瀬の地滑り対策	2	大阪府 柏原市	亀の瀬地すべり歴史資料室、排水トンネル等対策工事施設、旧大阪鉄道亀瀬隧道の見学を実施。 寺院や古墳などの歴史や日本遺産(申請中)との連携の可能性。	空港: 関西国際空港 (58km、約50分) 新幹線: 新大阪駅 (36km、約40分) 主要都市: 大阪市 (33km、約35分)
9	尾原ダム	1	島根県 雲南市	「地域に開かれたダム」として国・県・地元の三位一体による整備。 ダム湖「さくらおろち湖」に公認ボート競技施設、自転車ロードレースを設置、レガッタ大会やトライアスロン等を実施。 出雲大社、大山隠岐国立公園等との連携可能性。	空港: 出雲空港 (35km、約45分) 主要都市: 松江市 (45km、約55分)
10	日下川新規放水路	2	高知県 高岡郡 日高村	平成30年10月着工の日本最長級(5.2km)の放水路トンネル工事現場の見学を実施。 「日高村オムライス街道」、仁淀川屋形船等との連携を計画。	空港: 高知龍馬空港 (37km、約40分) 主要都市: 高松市 (17km、約30分)

1. モデル地区の追加選定候補 – 追加候補地区の概要④ –

	施設	パターン	所在地	特徴等	アクセス・背後地
11	横瀬川ダム	2	高知県 宿毛市	2019年度完成予定、全国初の側水路減勢方式のダム。 ダム本体に設置したクライミング施設の体験を実施。 観光協会主催ナイトツアーがダムアワードイベント賞受賞。 足摺宇和海国立公園、四万十川との連携の可能性。	空港：高知龍馬空港 (144km、約2時間30分) 主要都市：高知市 (124km、約2時間20分)
12	関門航路	2	福岡県 北九州市	山口県下関市と北九州市を隔てる海峡、航路浚渫現場の見学会を実施。 門司港レトロ地区・壇ノ浦、巖流島との連携の可能性。	空港：北九州空港 (38km、約40分) 新幹線：小倉駅 (14km、約30分) 主要都市：北九州市 (13km、約30分)
13	金武ダム	2	沖縄県 国頭郡 金武町	世界初の台形CSGダムとして2009年に着工。 ダム建設時に発見された文化財「宿道」を移設・復元。 沖縄本島内リゾート地、世界遺産との連携の可能性。	空港：那覇空港 (52km、約50分) 主要都市：那覇市 (49km、約50分)

2. モデル地区の追加選定(案)

2. モデル地区の追加選定(案) — 選定基準 —

モデル候補地区から、インフラツーリズム拡大に向けた取り組みの効果が特に期待できる地区をモデル地区として選定する。

<選定基準>

- 「モデル候補地区の評価」(P.10～13)における検討事項(既存の活用しうる組織、今後の連携団体等、既存の見学内容(今後の発展性を含む)、取組方針・連携の可能性、コロナ対策に関する検討事項)が整備されていること
- 来訪者数は少ないもののツアー実施の取り組みの推進がなされている等伸びしろが期待でき、他地区への参考事例となり得ること
- 地域と連携してインフラツーリズムを重点的に推進する意識が明確であること

なお、選定された地区については、魅力的なツアー造成に向け、社会実験として下記の取り組みを実施する。

<取り組み内容>

- 資源の調査
- 地域資源を活用したツアーの企画
- ファムツアー(下見招待旅行)の実施
- 持続的な体制づくり

2. モデル地区の追加選定(案) – 各候補地区の評価(案)① –

◎:体制づくりやツアー実施等の取組が特に期待できる ○:体制づくりやツアー実施等の取組が期待できる

施設	パターン	既存の活用している組織	今後の連携団体等	既存の見学内容(今後の発展性を含む)	取組方針・連携の可能性	コロナ対策に関する検討事項
1 国道37号白鳥大橋	2	◎ ・室蘭観光推進連絡会議	○ ・100年建造物保存活用会等	◎ ・公共施設見学ツアー、市民見学会、体験試行会、「インフラわくわくツアー」、「撮りフェス」等、民間事業者にて主塔見学を含めた各種有料ツアーを実施 *参加人員:のべ146人	◎ ・寒冷地の国が管理する東日本最大の吊り橋 ・室蘭市観光振興計画における重点観光エリア ・室蘭市内及び周辺観光の促進 ・土日も対応可能なガイドの育成	○ ・主塔エレベーターの定員制限、消毒 ・クルーズ船の3密対策 ・乗船数の削減
2 石巻南浜津波復興祈念公園	2	◎ ・地域活性化推進協議会	○ ・地域の活動団体、国営公園事務所等	○ ・被災地巡り(語り部)等、民間事業者にて予約不要の有料ツアーを実施 ・定期的な植樹会、震災展示スペースの視察等 *年間来訪者数:約2万人	○ ・植樹、地域産品の食事、買い物との連携 ・語り部と歩く体験型学習ツアー ・震災の記憶・教訓の伝承、地域活性化	○ ・語り部と参加者双方の感染対策(1組当たりの人員、案内方法等)
3 鬼怒川上流ダム群(五十里ダム・川俣ダム・川治ダム・湯西川ダム、鬼怒川上流ダム群連携施設)	1	◎ ・鬼怒川上流ダム群水源地域ビジョン推進協議会	—	○ ・ダム見学ツアー、水陸両用バスツアー等民間事業者にて年間を通して有料ツアーを実施 ・職員による見学会等実施 *参加人員:約2万人(うち外国人参加者:65人)	◎ ・鬼怒川上流ダム水源地域ビジョン策定 ・水陸両用バス活用、放流見学会、ライトアップの検討 ・情報発信資料作成、ツアーガイドの育成	○ ・ダム監査廊等内部見学時の定員制限、換気 ・水陸両用バス、移動車、エレベーターの消毒
4 宇奈月ダム	1	—	○ ・富山県、黒部市、観光協会等	◎ ・ダム内部(監査廊)見学、インフォメーション施設見学等ダム管理所にて無料ツアーを定期開催 *年間来訪者数:1,741人(うち訪日外国人:約10人)	○ ・黒部市観光推進計画に位置付け ・情報発信方策の検討	○ ・ダム監査廊等内部見学時の定員制限、換気

2. モデル地区の追加選定(案) – 各候補地区の評価(案)② –

◎:体制づくりやツアー実施等の取組が特に期待できる ○:体制づくりやツアー実施等の取組が期待できる

施設	パターン	既存の活用する組織	今後の連携団体等	既存の見学内容(今後の発展性を含む)	取組方針・連携の可能性	コロナ対策に関する検討事項
5 木曽川	1	◎ ・美濃加茂市かわまちづくり協議会	○ ・(仮称)木曽川かわまちづくり協議会、自治体、観光協会、国営公園等	○ ・河川を活用した、SUP体験、ラフティング、リバーブギ等の体験プランを民間事業者で実施 *年間来訪者数:約83,000人	○ ・木曽川沿川の観光施設とインフラの連携 ・沿線自治体の観光客拡大を目的としたツアー・コースの提案	○ ・レジャー施設の消毒 ・参加者の健康チェック
6 木津川上流ダム群と名張かわまちづくり	1	◎ ・名張かわまちづくり協議会 ・青蓮寺ダム・比奈地ダム水源地域ビジョン実行連絡会	○ ・東奈良名張ツーリズムマーケティング、観光協会、エコツーリズム推進協議会等	○ ・DMO、民間事業者による高山ダム・比奈知ダムツアーを実施 ・施設見学会、ひなち湖マラソン、青蓮寺湖駅伝等 *年間来訪者:のべ約8,000人	◎ ・名張市観光計画等に位置づけ ・インフラ施設、観光施設、河川空間を巡るサイクリングツアー ・サイクリングと体験プログラム等イベントとの相乗効果	○ ・ダム監査廊等内部見学時の定員制限、換気 ・サイクリング施設の消毒 ・参加者の健康チェック ・他利用個所の消毒等
7 大滝ダム	1	◎ ・川上村情報連絡会	○ ・ダム管理所、観光協会、関西電力、県教育委員会等	○ ・管理事務所により大滝ダム体験ツアーを実施 ・学習体験施設「学べる防災ステーション」を併設 *ダムサイト来場者:30,185人、防災ステーション来館外国人:144人	○ ・エコツーリズム推進法の認定 ・「水源地の村づくり」の魅力が伝わる情報発信ツール作成 ・民間主導ツアーの試行	○ ・ダム監査廊等内部見学時の定員制限、換気
8 亀の瀬の地すべり対策	2	—	○ ・柏原・三郷日本遺産推進協議会(仮称)等	—	○ ・歴史学習を中心としたツアー企画、修行体験や農業体験 ・宿泊施設からウォーキングツアーや見学の申込が出来るように連携	○ ・トンネル見学時の定員制限、換気

2. モデル地区の追加選定(案) – 各候補地区の評価(案)③ –

◎:体制づくりやツアー実施等の取組が特に期待できる ○:体制づくりやツアー実施等の取組が期待できる

施設	パターン	既存の活用する組織	今後の連携団体等	既存の見学内容(今後の発展性を含む)	取組方針・連携の可能性	コロナ対策に関する検討事項
9 尾原ダム	1	◎ ・さくらおろち湖活性化ネットワーク会議	○ ・旅行会社 等	○ ・地元NPO・ダム事務所による見学イベントを実施 ・官学申込のあった場合や各種イベント時に展示室、ダム管理施設の見学等実施 * 年間来訪者数: 141,205人	○ ・ダム放流設備の見学会 ・点検放流時の放流見学 ・一般公開していない利水放流設備の見学	○ ・ダム監査廊等内部見学時の定員制限、換気
10 日下川新規放水路	2	◎ ・日下川流域観光懇談会	○ ・日高村オムライス街道推進プロジェクト、村のガイドひだかの会 等	◎ ・学生、建設技術者や住民及びJICA研修を受け入れたトンネル掘削状況等、工事現場の見学を実施 * 参加人員: 約1,400人/2年	◎ ・国内最長級の放水路トンネル建設の高度技術見学 ・インフラ施設と水害の関わりや歴史の紹介・学習 ・情報発信資料の作成、ボランティアガイドの育成、土産物メニュー開発、限定ツアー、イベントの実施	○ ・トンネル見学時の定員制限、換気 ・工事関係者の感染予防
11 横瀬川ダム	2	◎ ・ダム利活用調整協議会、ダム活元気ネットワーク	—	◎ ・クライミング施設体験・ダム周辺のサイクリング、ダム見学等のイベントを実施 * 年間来訪者数: 2,938人	○ ・クライミング施設体験とダム見学、ダムカレーのセット ・中筋川ダム、横瀬川ダム、坂本ダムを巡るサイクリングツアー ・情報発信資料作成、ボランティアガイドの育成	○ ・ダム監査廊等内部見学時の定員制限、換気 ・クライミング施設、サイクリング施設の消毒 ・参加者の健康チェック
12 関門航路	2	—	○ ・門司港レトロ俱樂部等民間事業者、下関市、商工会議所、	○ ・関門航路湊現場見学会 * 年間来訪者数: 約180人	○ ・関門航路(海峡)周遊ツアー ・関門海峡潮流体験	○ ・海底トンネルの定員制限、換気 ・潮流体験船の乗船定員制限

2. モデル地区の追加選定(案) – 各候補地区の評価(案)④ –

◎:体制づくりやツアー実施等の取組が特に期待できる ○:体制づくりやツアー実施等の取組が期待できる

	施設	パターン	既存の活用 しうる組織	今後の 連携団体等	既存の見学内容 (今後の発展性を含む)	取組方針・連携の可能性	コロナ対策に関する 検討事項
13	金武ダム	2	◎ ・金武ダム水源 地域ビジョン推 進協議会	○ ・アクティビティ 事業者、宿泊 施設、酒造会 社、JATA沖縄 支部 等	○ ・ダム堤体・内部の見学、ダム資料 館見学等実施 * 年間来訪者数: 約320人	○ ・周辺観光施設とインフラ施設の 連携、宿泊、食事、アクティビ ティーを含めたツアー	○ ・ダム監査廊等内部見 学時の定員制限、換気 ・資料館の入館定員制 限、消毒

2. モデル地区の追加選定(案) – 選定箇所案 –

モデル地区を2箇所選定

<選定基準>

- 「モデル候補地区の評価」(P.10～13)における検討事項(既存の活用しうる組織、今後の連携団体等、既存の見学内容(今後の発展性含む)、取組方針・連携の可能性、コロナ対策に関する検討事項)が整備されていること
- 来訪者数は少ないもののツアー実施の取り組みの推進がなされている等伸びしろが期待でき、他地区への参考事例となり得ること
- インフラツーリズムを重点的に取り組む準備・意識が明確であること

	施設	所在地	評価結果
1	国道37号 白鳥大橋	北海道 室蘭市	<ul style="list-style-type: none"> • 1998年に完成した東日本最大の吊り橋であり、国が管理する橋梁見学の事例となる。 • 周辺には令和2年7月19日開業の民族共生象徴空間「ウポポイ」や登別温泉などの観光地、夜景やクルーズが人気を集める室蘭港等があり、地域と連携した周遊コースとしての取り組みが期待できる。 • 北海道のインフラ施設として、寒冷地における冬季の施設見学の検討や、首都圏・海外等遠隔地からの誘客を目指す事例となる。
2	日下川新 規放水路	高知県 高岡郡 日高村	<ul style="list-style-type: none"> • 日本最長級かつ高度な技術を必要とする水路トンネルであり、現在工事が行われていることから、トンネルとして初の事例であるとともに、工事段階から管理段階への移行について、ハツ場ダムの知見を展開する機会となる。 • 工事現場の見学を通して放水路、調整池、樋門(水門)等のインフラ施設と水害の関わりや歴史を紹介・学習できるほか、本施設によって洪水から守られる地域での食事や観光を通してインフラの重要性を伝えることができる。 • 仁淀ブルー等地域の観光資源との連携が期待でき、大都市や有名観光地から遠い立地における、地域への誘客を図る取り組み事例となる。

3.追加選定モデル地区(案)の概要

3. 追加選定モデル地区(案)の概要 — 白鳥大橋 —



◆施設概要

- 協議体:「室蘭観光推進連絡会議」(室蘭市、室蘭観光協会、室蘭商工会議所等)
- 見学内容:公共施設見学ツアー(1回)、市民見学会(2回)、インフラわくわくツアー(2回)、撮りフェス(1回)、体験試行会(4回)を開催し、のべ146名が参加。

◆活動実績例

- 室蘭観光協会による白鳥大橋を眺める夜景バスツアーの定期開催
- 北海道登別洞爺広域観光圏と連携した白鳥大橋ハーフマラソンの実施
- 室蘭市・室蘭開建部による主塔見学等の定期的な試行

◆ツアー造成に向けた方向性(案)

- 「鉄のまち」室蘭の歴史を辿るコースや、夜景が有名な室蘭港などと合わせたフォトジェニックな景観・景勝地を巡るコースを設定する。
- 登別温泉などの周辺観光地と連携した周遊コースも検討する。

3. 追加選定モデル地区(案)の概要 — 日下川新規放水路 —



◆施設概要

- 協議体: 日下川流域観光懇談会(仮称:設立調整中。日高村、日高村観光協会、仁淀ブルー観光協議会、日高村教育委員会、日高村商工会、日高村農協等)
- 見学内容: 約5.2kmを誇る日本で最長級の放水路トンネルの掘削工事において、県内外問わず、学生や建設技術者を受け入れた工事の見学(効果説明やトンネル掘削の工事状況)を日高村及び国交省にて随時実施。
- 工事着手のH30からR2.3迄で約1,400名/2カ年が見学

◆活動実績例

- 日高村及び国交省による工事見学会を実施(ただし、行政関係者、JICA研修、学生や周辺住民に概ね限定している状況)

◆ツアー造成に向けた方向性(案)

- 日本最長級かつ高度な技術を必要とする日下川新規放水路の工事現場の探検と、これにより洪水から守られる地域での食・買い物、体験を楽しむコース(フットパス、トレッキング等)を設定する。
- 放水路、調整池、樋門(水門)等のインフラ施設と水害の関わりや歴史を学べるストーリーを検討する。